

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成29年6月8日 (2017.6.8)

【公開番号】特開2016-156373(P2016-156373A)

【公開日】平成28年9月1日 (2016.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-052

【出願番号】特願2016-6803(P2016-6803)

【国際特許分類】

F 0 4 C 25/02 (2006.01)

F 0 4 C 29/00 (2006.01)

F 0 4 C 18/18 (2006.01)

F 0 4 C 18/16 (2006.01)

F 1 6 H 55/06 (2006.01)

H 0 2 K 16/00 (2006.01)

H 0 2 K 21/14 (2006.01)

【 F I 】

F 0 4 C 25/02 M

F 0 4 C 25/02 K

F 0 4 C 29/00 T

F 0 4 C 29/00 U

F 0 4 C 29/00 B

F 0 4 C 18/18 B

F 0 4 C 18/16 H

F 1 6 H 55/06

H 0 2 K 16/00

H 0 2 K 21/14 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月17日 (2017.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対向して配置された一対の軸と、  
 前記一対の軸に設けられた一対のポンプロータと、  
 前記一対の軸に設けられ、磁石の異磁極を対向させて直接磁気カップリングを形成する  
 一対のモータロータと、  
 前記一対の軸に設けられ、前記一対のポンプロータの同期をとるための一対のギヤと、  
 を備え、  
 前記一対のギヤは、相互に非接触となるように前記一対のギヤの歯間のクリアランスが  
設定されており、  
前記一対のギヤの歯間のクリアランスは、前記一対のポンプロータ間のクリアランスよ  
り小さく設定される、  
 真空ポンプ。

【請求項 2】

請求項 1 の真空ポンプにおいて、

前記一対のモータロータの外周に配置された電機子をさらに備え、  
前記電機子は、前記一対のモータロータの外周に所定の間隙を保って楕円状に配置される、

真空ポンプ。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤは、潤滑剤が充填されていない空間に配置される、  
真空ポンプ。

【請求項 4】

請求項 3 の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤは、前記一対のモータロータが配置されるポンプ室内に配置される、  
真空ポンプ。

【請求項 5】

請求項 3 の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤは、前記一対のモータロータが配置されるモータ室内に配置される、  
真空ポンプ。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤの少なくとも一方は、自己潤滑性のある材料で形成される、  
真空ポンプ。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤの少なくとも一方は、樹脂で形成される、  
真空ポンプ。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項の真空ポンプにおいて、

前記一対のギヤの少なくとも一方は、表面に潤滑剤がコーティングされている、  
真空ポンプ。